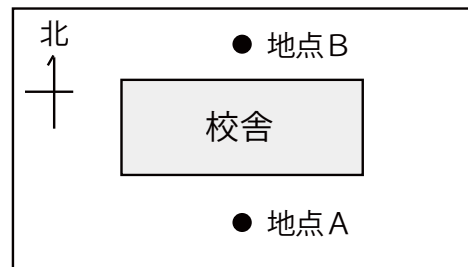


身近な生物の観察4

学習日 月 日

点

1 右の図は、ある学校の校舎周辺の地点Aと地点Bの位置を示したものである。



① 日当たりがよく乾燥している地点Aによく見られる植物を、次から選びなさい。

【タンポポ・ドクダミ・ゼニゴケ】

()

② 木の幹のコケのように、動かすことができないものをルーペで観察するとき、ピントを合わせるには何を動かせばよいか。

()

③ ルーペを目に近づけて観察するのはなぜか。簡潔に答えなさい。

()

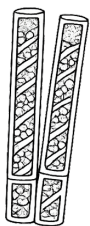
④ 地点Bは、地点Aに比べてどのような環境であるといえるか。

「日当たり」「しめりけ」と

()

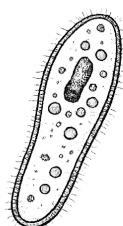
2 水中の小さな生物を顕微鏡で観察し、視野の中に同じ大きさに見えるようにスケッチしたものである。

ア アオミドロ



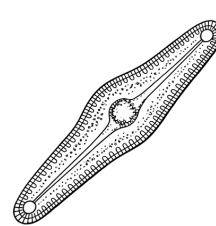
「60倍」

イ ゾウリムシ



「150倍」

ウ ハネケイソウ



「300倍」

① 生物を同じ倍率で見たとき、実際の大きさが最も大きいものはどれか。

図の生物名から選びなさい。()

② ①のように判断できる理由を、「倍率」という言葉を使って説明しなさい。

()

解答

1

- ① タンポポ
- ② 自分の顔（頭）
- ③ 視野を広くするため
- ④ 日当たりが悪く、しめりけが多い環境

2

- ① アオミドロ
- ② 同じ大きさに見える場合、観察した倍率が低いほど実際の大きさは大きい。